

平成25年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

1. 女性のチャレンジ賞(5名)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	能登 祐子(のと ゆうこ) (能代市上町自治会長 のしろ白神ネットワーク代表)	秋田県	<u>女性自治会長の先駆者として防災分野に尽力。</u> 能代第一中学校で初の女性PTA会長を務め、その後、地域活動へ積極的に参加。交流の場を欲している多くの女性の声を受け、上町自治会に女性部「上町すみれ会」を創設。女性の視点で町内の困り事の解決に向けた活動を開始し、能代市内自治会において初の女性自治会長に就任。実践をより重視した自治会活動を展開し、「自主防災組織」を立ち上げ、ハザードマップ作成、災害危険度の学習等を通じた「人との繋がり」及び「防災力向上」の取組を他に先駆けて実践する等、防災分野に尽力された。 (表彰歴) 秋田県男女共同参画社会づくり表彰ハーモニー賞(平成24年度)
2	佐藤 真琴(さとう まこと) (株式会社PEER 代表取締役)	静岡県	<u>ガン治療をしながら社会生活を送る女性患者の生活の質の向上に貢献。</u> 看護学校時代に、看護実習で受け持った白血病患者が、抗がん剤の副作用で脱毛したが、高価なかつらは治療費のため断念、他界してしまった経験から、看護学校在学中に起業した。 起業以来、「抗がん剤の副作用などで髪が抜けて日常生活が困難になった状態を、丸ごと何とかする」というコンセプトのもと、がん患者の切実なニーズに応え、経済的基盤の弱い女性も購入しやすい価格を設定、専門美容室を開業する等、がん治療しながら社会生活を送る女性患者の生活の質の向上に貢献している。 (表彰歴) 静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞 チャレンジの部受賞(平成20年度)、日経ウーマンオブザイヤー09キャリアクリエイト部門5位、第8回日本商工会議所女性起業家大賞スタートアップ部門特別受賞、経済産業省ソーシャルビジネス55選掲載(平成21年度)。
3	浅利 妙峰(あさり みょうほう) (有限会社糺屋本店 代表取締役社長)	大分県	<u>日本古来の食材である糺を女性ならではの視点で活用。</u> 杜氏と呼ばれる男性が主流のこうじの製造現場において、自らを「こうじ屋ウーマン」と名乗りブログを通じてこうじの魅力を発信するとともに、「活用法が分かれば買ってもらえるかもしれない」と考え、こうじを使ったレシピも積極的に発信した。 また、平行して自社ブランドの開発にも取り組み、甘酒の原液である「甘糺」、江戸時代から広く使われていた「塩糺」、新たな発想による「こうじ納豆」など次々と新商品を開発し、家庭に不可欠な調味料の一つとして、塩糺を塩、甘糺を砂糖の代わりに料理に使うように売り込んだことにより、糺の認知度は飛躍的にアップした。混迷を極めていたこうじ業界を飛躍させ、廃業寸前の老舗を復活させるとともに、「塩糺」ブームの火付け役として全国の仲間にも勇気をあたえた。 (表彰歴) 大分合同新聞文化賞、大分県女性のチャレンジ賞(平成24年度)
4	横田 響子(よこた きょうこ) (株式会社コラボポ 代表取締役)	東京都	<u>女性事業主コミュニティを起業し、女性の雇用創出と働き方の選択肢を増やすことに貢献。</u> 女性社長の可能性を広げる事業継続支援サービスを軸として起業し、日本最大の女性社長コミュニティサイト「女性社長.net」の運営等、現在1300名強の女性事業主コミュニティを運営している。 また、女性経営者を支援する活動、女性の雇用を促進する活動、企業のイノベーションに貢献し、さらには、被災地企業と首都圏を中心とした女性経営者との連携支援にも貢献している等、多岐にわたり活躍している。 (表彰歴) APEC WES(Women and Economy Summit)イノベーター(平成23年度)
5	籠田 淳子(こもりた じゅんこ) (有限会社ゼムケンサービス 代表取締役)	福岡県	<u>男性が多数を占める建設業において、「女性だからできる経営」を実践。</u> 男性が多数を占める建設業において、新入社員から育児中、子育てが一段落した者など、多様なライフステージにある女性社員が各自の事情に応じて働けるようワークシェアリングの導入等、「女性だからできる経営」を実践している。 また、全国的に建設投資額が低迷する中、女性社員が多いことを「弱み」から「強み」へと転換するため、本業である建築業から派生した新規事業「JKD女性建築デザインチームによるまちづくりへの挑戦」は、女性の視点をデザインや設計に生かし、「家づくり」「店づくり」「まちづくり」そして「幸せづくり」につなげていくもので、自社のみならず、全国の有志とともに進めるプロジェクトであり、店舗、住宅、医療・福祉施設などで多数の実績を残し、高い評価を受けている。 (表彰歴) 第3回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰市長賞(個人部門)(平成21年)、第5回北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰市長賞(企業)(平成23年)

2. 女性のチャレンジ支援賞(1団体)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	株式会社グロッシー (代表取締役 北村 貴(きたむら たか))	北海道	<p><u>働く女性のムーブメントを起こすため、地域で働く女性のロールモデルを発掘し活躍をPR。</u></p> <p>北村社長がこれまで培ったネットのスキルと人脈を活用して、十勝の素晴らしい食材で外貨を稼ぎ地元を活性化するため、食品のネット通販を実施。また全国の料理研究家270名をネットワークし食のマーケティングやPRを手掛ける(株)グロッシーを設立。その後味覚教育を行う味育協会を設立し、産地の強みを活かし、食の安全性について提案を行う。</p> <p>さらに、キャリア形成や起業を目指す女性のネットワーク組織「十勝キャリアデザインネットワーク」を設立し、事務局を(株)グロッシー内に設置。北村社長が事務局長を務める。</p> <p>その活動目標は1. 管内の企業の女性管理職(課長以上)の割合が10%を超える 2. 本ネットワークを介し起業する女性が100人を超えることとし、企業内のキャリアアップを求めることや 起業を考えることが特別ではなくなることを目指している。</p> <p>また、同組織主催の「キャリアデザイン大賞」を2011年から隔年で開催し、実行委員長として活躍。様々な働き方を通じて頑張っている女性を発掘、表彰し働く女性のロールモデルとしてPRしている。</p>

3. 女性のチャレンジ賞特別部門賞(4名)(テーマ:「女性活躍企業リーダー」)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	林 克重(はやし かつしげ) (タカラ印刷株式会社代表取締役)	福島県	<p>企業における女性起用・能力開発に積極的に取り組み、活気ある働きやすい職場環境づくりに寄与。</p> <p>1995年の北京会議に役員を参加させ、そこで学んだ企業における女性の起用・能力開発の重要性を活かし、社内の改革に取り組み、社内横断的に女性の視点・生活者の視点でのチームを結成して企画開発を行った結果、売上げアップにつながり、女性活用による成功事例を作った。 また、女性社員をパートタイマーのまま管理職として営業課長に起用するなど、やる気のある社員に機会を提供し、活気があって働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。 (表彰歴) 福島県男女共生センター誕生10年記念表彰「女と男の未来館大賞」(平成21年度)。</p>
2	川原 正孝(かわはら まさたか) (株式会社ふくや代表取締役社長)	福岡県	<p>女性社員の就業継続、育成に積極的に取り組み、女性の活躍を進める必要性・効果を発信。</p> <p>代表取締役社長として、女性社員の育児休業取得を進め、育児休業中の社員に社内報を送付したり、職場への復帰1か月前に、復帰後の勤務時間の希望や子育て環境を十分に聞き取り、可能な限り希望に沿った柔軟な復職支援を行っている。さらに、パート社員として復帰した場合でも、一定の条件を満たせば正社員への転換も可能としたり、社員がキャリアアップのために資格取得を目指す際には、男女に関わらず受験料を会社が負担する等、「男女に関わらず貴重な人材として能力を発揮して働き続けてもらいたい。」との考えから、きめ細かな取り組みを行い、女性社員の就業継続、育成に積極的に取り組んでいる。 また、平成25年5月19日に安部首相の参加のもと開催された「若者・女性活躍推進フォーラム(第8回)」では、男女共同参画の推進や仕事と家庭の両立支援の取り組みについて、企業経営者の立場から発表を行う等、女性の活躍を進める必要性・効果や、男性の理解が必要であることをわかりやすく提言・発信している。</p>
3	生駒 京子(いこま きょうこ) (株式会社プロアシスト代表取締役)	大阪府	<p>男女が同一線上で積極的に仕事に取り組むことを実践し、幹部女性を多く登用。</p> <p>「IT」という目に見えないものを売っているからこそ、一番大切にしているのは「人」を経営方針に掲げ、社員の働きやすい環境を作るとともに、男女が同一線上で積極的に仕事に取り組むことを実践し、幹部女性を多く登用している。 人材の育成には強い信念を持ち、社内外で人材育成に熱心な企業とのネットワークを構築するとともに、地域の行政・企業・大学等の女性、若者の働きやすい環境作りの様々な取組みに対して、アドバイスや講演などを通じて、積極的に協力していく姿勢は、地域において高く評価されている。 (表彰歴) 大阪市きらめき企業賞受賞(平成23年度)。</p>
4	福井 真紀子(ふくい まきこ) (株式会社ハーモニーレジデンス代表取締役)	東京都	<p>優秀なシングルマザーと女性管理職候補者の人材を企業へ紹介、女性が活躍できる機会の創出に貢献。</p> <p>2007年に日本で初めてシングルマザーの正社員人材に特化した人材紹介を開始。「女性をもっと活用したいが、先頭を走ってくれる女性のお手本がない」という企業の切実なニーズに着目。優秀なシングルマザーを100社以上の企業に「ロールモデル」としての紹介実績があり、リピート求人依頼率も90%以上。誰もが当たり前の子育てと仕事の両立ができる社会の実現に貢献することを使命に、ロールモデル・女性管理職の優秀な女性人材の紹介事業を展開している。特に女性管理職が少ないのは、「社内にリーダー候補が少ない」「居ても経験や研修を受けさせる余裕がない」という2点に着目し、選抜した女性管理職候補者に「リーダーシップ研修」を提供。研修修了者と企業が参加する、「女性管理職候補者 採用合同面接会」を開催。参加者双方から大変高い評価を得ている。女性管理職を30%にするという政府目標にも寄与している。</p>